

早稲田大学 教育学研究科
修士課程 入試問題の訂正内容

<2022年度 一般・外国学生入試>

【学校教育専攻 専門科目】

●問題冊子2ページ : 問題2(1)1～2行目

(誤)

～「学校が、小型の共同、胎芽的な社会となる」…

(正)

～「学校が、小型の共同体、胎芽的な社会となる」…

以上

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科

修士課程 一般・外国学生入学試験問題

[専門科目] 【学校教育専攻】

解答上の注意

1. 学校教育専攻の入学試験問題は、出願時に届け出た研究指導・指導教員の専門分野により下記の表のように分かれています。「志願票に記入した研究指導名」にしたがって指定された「解答すべき設問」を解答しなさい。

志願票に記入した研究指導名	志願票に記入した指導教員名	解答すべき設問
教育学研究指導	藤井 千春	設問Ⅰ (教育学)
教育哲学研究指導	坂倉 裕治	
教育内容・方法研究指導	根津 朋実	
学校経営学研究指導	菊地 栄治	
教育行財政学研究指導	小松 茂久	
教育工学研究指導	三尾 忠男	
教育社会学研究指導	吉田 文	設問Ⅱ (教育社会学・ 社会教育学)
社会教育学研究指導	小林 敦子	
社会教育学研究指導	坂内 夏子	
社会教育学研究指導	前田 耕司	
社会教育学研究指導	矢口 徹也	
生涯教育学研究指導	濱中 淳子	
発達・教育心理学研究指導	上淵 寿	設問Ⅲ (教育心理学)
臨床心理学研究指導	堀 正士	
教育評価・測定研究指導	椎名 乾平	
障害・神経心理学研究指導	坂爪 一幸	
学校心理学研究指導	本田 恵子	
特別支援教育学研究指導	梅永 雄二	
初等教育学研究指導	河村 茂雄	設問Ⅳ (初等教育学)
初等教育学研究指導	佐藤 隆之	
初等教育学研究指導	小林 宏己	
初等教育学研究指導	大泉 義一	

2. 「解答すべき設問」以外を解答した場合、当該解答は「0点」となります。
3. 解答用紙の所定欄に、「設問番号」(例:「Ⅰ」・「Ⅳ」など)を必ず記入すること。
また、全ての解答用紙の所定欄に受験番号・氏名・研究指導名・指導教員名を必ず記入すること。
4. 解答用紙は、「問題番号」(各設問の問題1、問題2、問題3)別に使用すること(一つの問題で一枚使用)。
5. 解答用紙のホッチキスは、はずさないこと。また、無解答の解答用紙でも提出すること。
6. 問題用紙は「5枚」(本ページ含む)、解答用紙は「3枚」です。必ず枚数を確認すること。

以 上

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問 I (教育学)

問題 1 以下の 8 題中、1 課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) J-J. ルソーが『エミール』で論じた「消極的教育」について論述しなさい。
- (2) 現代日本における小・中・高等学校教員の管理職率における男女格差の要因について論述しなさい。
- (3) 教育機会の平等が達成されても、結果の平等が達成されることはないと言われる。教育機会の平等、結果の平等とは何かを定義したうえで、この命題を説明しなさい。
- (4) 日本を含む東アジア地域においては急速に高齢化が進展する中で、高齢者に対する教育が活発化している。具体的な国の事例をあげながら、高齢者教育が直面している現状と課題について論じなさい。
- (5) GIGA スクール構想が達成され、情報端末の家庭への持ち帰りが可能になった場合どのような新しい生徒指導が可能になるだろうか。自由に論述しなさい。
- (6) 学業不振とは何かを述べ、学校心理学的アプローチにおける第一次予防として行う必要があることを具体例を用いて論述しなさい。
- (7) 市民性教育として行う道徳教育とはどのような教育か、具体例をあげながら論述しなさい。
- (8) 育成を目指す資質・能力における「学びに向かう力・人間性等」と学習評価における「主体的に学習に取り組む態度」の関係を説明した上で、その関係から懸念される問題について論述しなさい。

問題 2 以下の 6 題中、1 課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) ジョン・デューイが主張した学校と社会との関係の在り方について、『学校と社会』で述べられている「学校が、小型の共同、胎芽的な社会となる」という言葉を手掛かりにして論述しなさい。
- (2) フレーベルが提唱した幼稚園 (Kindergarten) に顕著にみられるように、通常の社会環境から切断されて特別に整えられた空間で理想的な教育を与えようとする考え方は、ヨーロッパ近代の教育思想家に広く認められる。この考え方の教育的意義について論述しなさい。
- (3) 少人数学級および少人数指導について、それぞれの特徴と相違点を論述しなさい。
- (4) 現代日本における若手教員育成をめぐる現状と課題を概観し、状況改善に資する組織的・制度的な対応について論述しなさい。
- (5) 大学入学共通テストでの英語民間試験活用ならびに記述式問題の導入に関して何が論点となったのかについて論述しなさい。
- (6) 学校における情報教育の役割について、実施における課題とともに論述しなさい。

問題 3 以下の項目中、5 項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した課題番号と項目を書き写してから始めること。

- | | | |
|---------------------------------|-----------------|-----------------------|
| (1) 教育の内容の現代化 | (2) アカデメイア | (3) ゲオルグ・ケルシェンシュタイナー |
| (4) フェルディナン・ビュイッソン | (5) 文化的再生産論 | (6) 高等学校の総合学科 |
| (7) ベンジャミン・ブルーム | (8) 全国学力・学習状況調査 | (9) モニトリアル・システム (助教法) |
| (10) アドボカシー | (11) 多職種連携 | (12) 生権力 |
| (13) 免許外教科担任制度 | | |
| (14) 教育支援センター (適応指導教室) | (15) チャーター・スクール | |
| (16) Learning Management System | (17) S-P 表 | (18) ルーブリック (rubric) |
| (19) 陶行知 | (20) 藩校 | (21) 会津八一 |

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] 【学校教育専攻】

設問Ⅱ（社会教育学・教育社会学）

問題1 以下の8題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) J-J. ルソーが『エミール』で論じた「消極的教育」について論述しなさい。
- (2) 現代日本における小・中・高等学校教員の管理職率における男女格差の要因について論述しなさい。
- (3) 教育機会の平等が達成されても、結果の平等が達成されることはないと言われる。教育機会の平等、結果の平等とは何かを定義したうえで、この命題を説明しなさい。
- (4) 日本を含む東アジア地域においては急速に高齢化が進展する中で、高齢者に対する教育が活発化している。具体的な国の事例をあげながら、高齢者教育が直面している現状と課題について論じなさい。
- (5) GIGA スクール構想が達成され、情報端末の家庭への持ち帰りが可能になった場合どのような新しい生徒指導が可能になるだろうか。自由に論述しなさい。
- (6) 学業不振とは何かを述べ、学校心理学的アプローチにおける第一次予防として行う必要があることを具体例を用いて論述しなさい。
- (7) 市民性教育として行う道徳教育とはどのような教育か、具体例をあげながら論述しなさい。
- (8) 育成を目指す資質・能力における「学びに向かう力・人間性等」と学習評価における「主体的に学習に取り組む態度」の関係を説明した上で、その関係から懸念される問題について論述しなさい。

問題2 以下の6題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) コロナ禍を背景にオンライン学習が急速に普及した。とくに「大人の学び」を念頭に置いたとき、オンライン学習のメリットとデメリットはどのように捉えられるか。それぞれ複数の観点から論述しなさい。
- (2) 日本の成人教育の充実のために大学が果たし得る役割について論述しなさい。
- (3) 先住民族教育研究において先住民族が研究主体として参画する仕組みの構築がどうしても必要とされるのか、ポストコロニアルの視点から論述しなさい。
- (4) 学校には、目に見えない選抜があるという。これはどのようなことか。いくつか具体例を挙げつつ論述しなさい。
- (5) 家庭における絵本の読み聞かせが子どもに与える影響を、認知的側面及び非認知的側面から論述しなさい。
- (6) ボランティア活動の特徴の一つである無償の行為から、我々は何を学ぶことができるか、具体的に論述しなさい。

問題3 以下の項目中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した問題の番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 仕事競争モデル (2) ハビトゥス (3) ランドール・コリンズ
- (4) 日本語教育の推進に関する法律 (5) ヤングケアラー (6) affirmative action
- (7) デセコ・プロジェクト (8) 211プロジェクト (9) OBL (object-based learning)
- (10) IFEL (教育長等講習) (11) PTA (父母と先生の会)
- (12) 教育基本法第12条 (13) 国際バカロレア (14) 中央教育審議会
- (15) アカデミック・キャピタリズム (16) 成人基礎教育
- (17) 学習する組織 (18) エンベディッド・ライブラリアン (embedded librarian)

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] **【学校教育専攻】**

設問Ⅲ（教育心理学）

問題1 以下の8題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) J・J・ルソーが『エミール』で論じた「消極的教育」について論述しなさい。
- (2) 現代日本における小・中・高等学校教員の管理職率における男女格差の要因について論述しなさい。
- (3) 教育機会の平等が達成されても、結果の平等が達成されることはないと言われる。教育機会の平等、結果の平等とは何かを定義したうえで、この命題を説明しなさい。
- (4) 日本を含む東アジア地域においては急速に高齢化が進展する中で、高齢者に対する教育が活発化している。具体的な国の事例をあげながら、高齢者教育が直面している現状と課題について論じなさい。
- (5) GIGAスクール構想が達成され、情報端末の家庭への持ち帰りが可能になった場合どのような新しい生徒指導が可能になるだろうか。自由に論述しなさい。
- (6) 学業不振とは何かを述べ、学校心理学的アプローチにおける第一次予防として行う必要があることを具体例を用いて論述しなさい。
- (7) 市民性教育として行う道徳教育とはどのような教育か、具体例をあげながら論述しなさい。
- (8) 育成を目指す資質・能力における「学びに向かう力・人間性等」と学習評価における「主体的に学習に取り組む態度」の関係を説明した上で、その関係から懸念される問題について論述しなさい。

問題2 (1)～(5)の設問から一つを選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) ランダム化比較試験(RCT)について論述しなさい。
- (2) 投影法検査の例を一つ上げ、測定できる要素と検査の限界について論述しなさい。
- (3) ZoomなどのWeb会議システムを用いて行うビデオカウンセリングの利点と問題点について論述しなさい。
- (4) 発達障害（神経発達症）の理解と支援に神経心理学的な知識や評価は欠かせない。その理由について、具体例もあげて論述しなさい。
- (5) 自律的動機づけと内発的動機づけの関係について論述しなさい。

問題3 以下の項目中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した問題の番号と項目を書き写してから始めること。

- (1) 肢節運動失行 (2) WISC-IV (3) ベンゾジアゼピン系薬剤 (4) 元良勇次郎
- (5) 教訓帰納 (6) 学習の生物学的制約 (7) M-GTA (8) 修正型電気ショック療法 (9) 実験美学
- (10) 情動伝染 (11) 誤信念課題（サリーとアン課題） (12) 月の錯視

2022年度 早稲田大学大学院教育学研究科
修士課程 一般・外国学生入学試験問題
[専門科目] **【学校教育専攻】**

設問Ⅳ（初等教育学）

問題1 以下の8題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) J-J. ルソーが『エミール』で論じた「消極的教育」について論述しなさい。
- (2) 現代日本における小・中・高等学校教員の管理職率における男女格差の要因について論述しなさい。
- (3) 教育機会の平等が達成されても、結果の平等が達成されることはないと言われる。教育機会の平等、結果の平等とは何かを定義したうえで、この命題を説明しなさい。
- (4) 日本を含む東アジア地域においては急速に高齢化が進展する中で、高齢者に対する教育が活発化している。具体的な国の事例をあげながら、高齢者教育が直面している現状と課題について論じなさい。
- (5) GIGA スクール構想が達成され、情報端末の家庭への持ち帰りが可能になった場合どのような新しい生徒指導が可能になるだろうか。自由に論述しなさい。
- (6) 学業不振とは何かを述べ、学校心理学的アプローチにおける第一次予防として行う必要があることを具体例を用いて論述しなさい。
- (7) 市民性教育として行う道徳教育とはどのような教育か、具体例をあげながら論述しなさい。
- (8) 育成を目指す資質・能力における「学びに向かう力・人間性等」と学習評価における「主体的に学習に取り組む態度」の関係を説明した上で、その関係から懸念される問題について論述しなさい。

問題2 以下の4題中、1課題を選び、論述しなさい。

※論述にあたっては、選択した課題番号と課題文の全部を書き写してから始めること。

- (1) プロジェクトに基づく教育とは何かを説明した上で、その現代的意義と課題を論述しなさい。
- (2) 児童生徒の自ら学ぶ力を育成するために、教師はどのような指導行動が期待されるかを論述しなさい。
- (3) 日本の美術教育思想には、ハーバート・リード (Herbert Read) に代表される「芸術による教育 (Education through Art)」とグンター・オットー (Gunter Otto) らによる「芸術への教育 (Education in Art)」が根底にあるとされる。これら二つの教育思想を説明した上で、それぞれが学校教育に対して有する意義について、具体的な事例をふまえて論述しなさい。
- (4) 「小学校高学年からの教科担任制の導入」に関する期待される効果と懸念される問題について論述しなさい。

問題3 以下の項目中、5項目を選び、解説しなさい。

※解説にあたっては、選択した問題の番号と項目を書き写してから始めること。

- ①文化的リテラシー ②自己有用感 ③造形ワークショップ ④グリット ⑤ネオ・プラグマティズム
⑥シナジー効果 ⑦造形遊び ⑧履修主義 ⑨本質主義 (の教育) ⑩可視化 ⑪デザイン思考 ⑫習得主義
⑬個別最適化された学び ⑭自己開示 ⑮ヴィジュアル・シンキング・ストラテジー (VTS) ⑯母語・母文化支援
⑰「考え、議論する道徳教育」 ⑱構成的グループエンカウンター ⑲ファシリテータ ⑳教科等横断的な学習の推進